分会機関紙等コンクール
2018年度入賞紙

2018年度の分会、青年部、主婦の会、シニア友の会の機関紙の入賞紙が決定しました。

「特選紙」は11月5日に、「けんせつ」元編集長の高畠素昭さんと向井光也さんが選定し、「入選紙」は11月18日に行なわれた通信員総会の際、出席者全員の厳正な投票によって決まったものです。

入賞紙は、以下38紙となりました。

特選紙

【分会の部】
○「はなはた」足立支部花畑分会○「ひぐらしさと」荒川支部日暮里第1分会○「奥戸」葛飾支部奥戸分会○「みずもと」葛飾支部水元分会○「葛西西」江戸川支部葛西西分会○「はらから」板橋支部徳丸分会○「じゅうおう」北支部十央分会○「みちくさ」練馬支部桜台分会○「新とよたま」練馬支部新豊玉分会○「たかまつ」練馬支部高松分会○「きたみ」世田谷支部喜多見分会○「なるほど」中野支部えごた分会○「善福寺タイムズ」杉並支部善福寺分会○「れんじゃくだより」三鷹武蔵野支部連雀分会○「一本杉」西多摩支部羽村第3分会○「九道の辻」小平東村山支部南分会

【青年部の部】
○「雑句場覧」杉並支部青年部

【主婦の会の部】
○「ひだまり」練馬・石神井台分会主婦の会○「主婦のちえ」八王子支部主婦の会

【シニア友の会の部】
○「あけくれ」渋谷支部シニアクラブ○「フレッシュの力」西東京支部フレッシュ友の会

入選紙

【分会の部】
○「綾瀬」足立支部綾瀬分会○「葛の花園」江戸川支部葛西第二分会○「けやき」豊島支部南池袋分会○「さくら」豊島支部さくら分会○「滝の流れ」北支部滝野川分会○「むぎ分会ニュース」練馬支部田柄分会○「さんちゃ」世田谷支部三軒茶屋分会

【青年部の部】
○「いっぷく」練馬支部青年部○「トーテンポール」渋谷支部青年部

【主婦の会の部】
○「あらかわ」荒川支部主婦の会○「ねりまの母ちゃん」練馬支部主婦の会○「あおぞら」練馬支部高松分会主婦の会○「菜の花」練馬支部石神井分会主婦の会○「井戸ばたかいぎ」渋谷支部主婦の会○「いなほ」多摩・稲城支部主婦の会

【シニア友の会の部】
○「荒友会ニュース」荒川支部荒友会○「マイスター通信」中野支部マイスター倶楽部

私の働き方改革

11月18日に開催された2018年度通信員総会では、参加された通信員の皆さんに「私の働き方改革」というテーマで、国の「働き方改革」への意見や自分自身の働き方について記事を書いてもらいました。

自分にも優しく働く
都合よく使われる介護職

岩武さん

【多摩・稲城・主婦・岩武佐代子通信員】プレミアムフライデー、○○マンデー、リフレッシュ休暇、土日祝日休み、残業なし…。同じ日本人でありながら、どこの国の話かと思ってしまう。介護職の私の世界はマンデーもフライデーも土日祝日なし、サービス残業あり。週3日出勤と決めていても、都合よく使われるのが実情。

だが今後の不安も山積みで、AI導入で大手銀行が万単位の人員削減をしたり、外国人労働者の受け入れにより、名も知恵もなく段々衰えるおばちゃんの働き口はあるのだろうか。安倍首相は100歳まで元気で働ける社会をめざすとあるが、100歳までも働きたくないし、元気でいられるかもわからない。

介護職は国や会社の方針に左右され、自分を殺し、人に優しい職種。前期高齢者入りを機に、これからは自分に優しい職に就きたい。仕事内容、時間、体力的に自分に合わせた働き方をしたいと思う。自分に優しく他人にも優しく働き続けたい。

ずさんな国会審議
憲法25条はないがしろ

筧さん

【中野・設計・筧豊通信員】今年6月に成立した「働き方改革法案」は、安倍首相が進めている「日本のかたち」を変える一連の改革の中で、労働法制にメスを入れる法案です。高度プロフェッショナルという高所得者の一部の専門職について労働時間規制の対象から、完全に外すというものです。

国会審議に出されたアンケート用紙も、改ざんされ、内容もずさんで、そんな資料を元に成立した法案は、認められません。近い将来、政府は今回の法案を私たち庶民まで巻き込むよう画策しているでしょう。

安倍政権が進める改革は、大企業からの要望が多いと言われています。大企業が儲かるためなら、無理にでも法案を通していきます。

私はこの法案は違憲の可能性があると思っています。憲法25条第1項にすべての国民共にすることもなく一人で、自室で済ませます。当然、子どもとの会話も少なく、接触も不器用。この家族どうなってしまうのと心配しています。

労働における人間性の疎外、壊された人格は家庭まで崩壊させます。家族の団らんがすべてではありませんが、何が大切か、何のために働くかが忘れられ、お金さえあれば豊かなのか。その豊かささえ奪う働き方改革って一体何。

ストレスで婿がダウン
心配な娘の家庭

青木さん

【目黒・空調・青木清通信員】朝7時前に出勤して、夜は11時、零時過ぎも当たり前のような勤務。大手電機メーカーのシステムエンジニアとして働く我が家の婿さん（娘の夫）。やっと40歳だが、これでは過労死。死んだら慰謝料タップリ取ってやるからと変な励ましをしていました。

そんな彼がストレスでダウンして3月の病欠。それからです、彼の勤務生活が変わったのは。今では6時前後に帰宅することもふえました。

しかし、彼は夕食を家族と

田嶋さん

【江戸川・設備・田嶋隆人通信員】そもそも働き方改革の背景には生産年齢人口の大幅な減少が要因になっています。この傾向は我々の建設業界では顕著に表れています。

この労働力不足を改善するには今まで労働市場に参加していない女性や高齢者など働き手をふやしたり、労働生産性を今まで以上に上げなければならないでしょう。

そんな中で、私が望む働き方改革は、人手を急激にふやすのは難しいので、AIや最新の工具、機器などの導入を国が促進・助成し生産性を上げていくことが一番近道だと思います。今まで2人で行なっていた作業も1人で済み、労働時間も大幅に短縮できると思います。

文明の利器頼みに
人手急増はむずかしい

労働人口が不足している今、悲しい言い方ですが、「文明の利器」に頼るしかないと思います。

結果、賃金の上昇も見込めるでしょうし、建設業界の人気も上がってくるのではないでしょうか。

環境づくりが大切
プライドを持ってやる

内田さん

【板橋・シャッター修理・内田恒夫通信員】働き方と言っても、業種、職種によって様々な形があると思う。

まず、今の時代でよく言われる社畜と言われるような働き方は絶対に望まれるものではないと言うこと。ただ、仕事と言うのはある程度できるようになると、いくらやってもキリがないほど面白いことも事実である。

次に、本人が納得できて、誇りが持てる仕事をすると言うこと、本人が疑問を持ち、納得できない状態では、いい仕事などできないと思う。

そして、それなりの報酬が得られる仕事、自分の仕事の評価が期待ハズレであった場合、仕事の意欲は削がれてしまい、仕事の能率、成果に期待することができなくなってしまう。

まあ、簡単に言えば、仕事をする側の人間が気持ちよく仕事ができる環境、自ら、仕事に意欲を持って仕事できる環境を作ることが、働き方改革となると思う、いくら政府のお役人がそれらしい法律を作っても、実際仕事をするのは人間だから…。

将来、私たち国民は健康で文化的な生活ができなくなる日が来ますね。

娘は残業代なし
「働かせ方改革」にNO

加藤さん

【渋谷・看板・加藤行夫通信員】学校の先生や保母さんは就業時間内に仕事が終わらず、自宅に持ち帰り続きを行なう。残業代はつかない、自分に能力がないのかと自分を責める方もおられるとか。

この「働き方改革」は「働かせ方改革」ではないか。私の娘はIT関係で働いているが、朝9時から帰りは夜7時か8時頃になる。「残業代は出るの」と聞くと「給料に含まれているから全然出ない」。それほど高賃金でもなさそうなのに一切残業代は出ず働かされる。まさに「働かせ方改革」の先取りではないか。

8時間働いて、8時間は寝て、8時間は自由な時間を取る。これが正常な過ごし方ではないか。低賃金、長時間労働は人間を壊し、社会生活を破壊する。「改革」は認められない。各自が置かれている場所で、実行させない運動を仲間と共に行なうことが大切だ。

詰将棋の解答

▲3二竜△1二玉▲2四桂△同金▲2一竜△2三玉▲3三馬△同玉▲3二竜まで9手詰。